

New Smart Bamboo Dragonfly

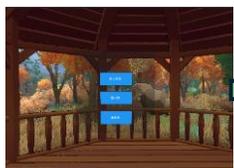
背景

日本は超高齢社会であり、更に総人口に対する65歳以上の割合は今後も増加すると予想されている。高齢化によって引き起こる問題として、認知症（痴呆症）患者の増加が懸念される。そこで、**楽しく・簡単に認知症を予防できるサービスが必要だとされている。**

製品の概要

開発した『竹とんぼデバイス』を使用し、3次元空間上で竹とんぼを飛ばすシステムで認知症予防

入力デバイスとソフトウェアを開発済み

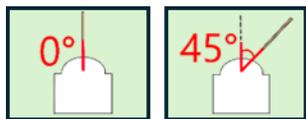
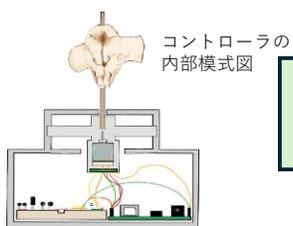
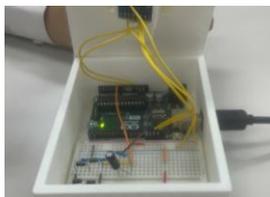


②ステージを選択

③竹とんぼのデザインを選択

⑤コントローラーの竹棒を回す

⑤VR空間内の竹とんぼが飛ぶ



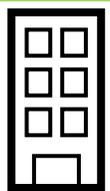
飛ばす角度が調整できる



⑥ゴールを目指す

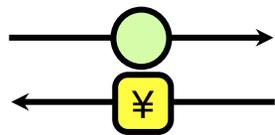
シリアル通信でソフトウェアへ値を送る

ビジネスモデル

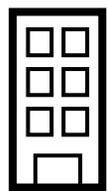


販売企業

製品の提供・メンテナンス



サブスクリプション料金



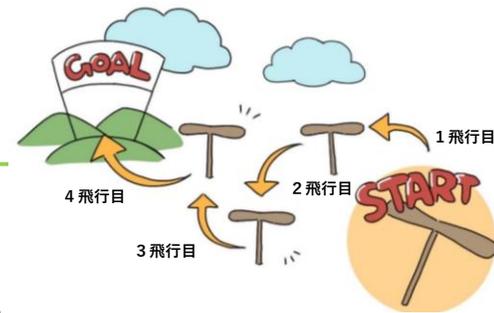
医療・福祉団体

医療施設への製品設置
訪問サービスでの提供



ユーザー（高齢者）

ポイント



①脳の活性化を促せる

竹とんぼの飛行中、『ゲー・チョキ・パー』や『手で扇ぐ』などの指示が表示される
→指示に従って手を動かすとセンサーで動きを感知、竹とんぼの飛距離が伸びる！

スタートの前に、竹とんぼの羽や棒の大きさを変更できる。同じ強さで回しても竹とんぼの形によって飛び方が異なるため、ゴールへ到達するための最適な形を考えながらプレイできる。



頭を使い、手を動かすことで脳の活性化が期待できる！

②導入が容易

ソフトウェアをインストールし、コントローラーとケーブル接続するだけでプレイ可能なため、他のVR介護システムと比べて導入が楽

③ゲームが初めてでもプレイしやすい

様々なステージが用意されており、例えば、
ステージ1：障害物無しで自由に飛ばせるコース
ステージ2：数本生えている木を避けながら飛ばすコース
ステージ3：沢山の木を避けながら池の周りを回るコース
など、簡単なステージから段階を踏んで難易度が上がるため、ゲームに慣れていない高齢者でもプレイしやすい